

ユビキタスネットワーク時代における 電子タグの高度利活用に関する調査研究会(第6回)議事要旨

1 日時

平成16年3月30日(火)16:30~17:40

2 場所

三田共用会議所 第4特別会議室

3 出席者

(1) 調査研究会構成員(50音順、敬称略)

青木 昭明(ソニー、代理:坂口)、縣 厚伸(イオン、代理:下北)、秋山 正樹(パナソニックモバイルソリューションズ、代理:小橋)、有園 徹(情報通信技術委員会)、石渡 恒夫(京浜急行電鉄)、今井 秀樹(東京大学)、内永 ゆか子(日本アイ・ピー・エム 代理:森)、瓜生 直樹(三菱ウェルファーマ)、大山 永昭(東京工業大学)、川辺 守彦(石川島播磨重工業)、金子 郁容(慶應義塾大学)、國井 秀子(リコー)、児玉 駿(日本通運)、齊藤 忠夫(東京大学名誉教授)、坂村 健(東京大学大学院、代理)、塩見 正(通信総合研究所、代理:久保田)、篠本 学(日立製作所、代理:植野)、高岡 博史(東芝 代理:秋田)、立石 和義(日本電信電話、代理:岸上)、築山 宗之(東京電力)、徳田 英幸(慶應義塾大学)、二木 治成(エヌ・ティ・ティ・ドコモ)、堀田 徹哉(アクセンチュア)、本保 芳明(日本郵政公社、代理:鶴田)、三木 彬生(日本貨物鉄道)、村井 純(慶應義塾大学、代理)、村上 輝康(野村総合研究所)、村上 仁己(KDDI)、大和 敏彦(シスコシステムズ)、若尾 正義(電波産業会)、和田 英一(インターネットイニシアティブ)

(2) 総務省(事務局)

鬼頭大臣官房技術総括審議官、武井技術政策課長、富永移動通信課長、新堀データ通信課長他

5 議事

(1) 開会

(2) 配布資料の確認

(3) 前回議事録の確認

(4) 議事

パブリックコメントの結果及び回答案について並びに最終報告書(案)について

- ・ パブリックコメントに対して提出されたご意見の概要及びご意見に対する調査

研究会としての考え方(案)について並びに本調査研究会の最終報告書(案)について事務局より説明がなされた。

主な意見は以下の通り。

- ・ パブリックコメントに対する回答については、ホームページにおいて回答を掲載するが、個別の意見提出に対して回答するのか。
- ・ 総務省ホームページに掲載し、それをご覧いただく。
- ・ 回答案の5ページ目において、電波干渉による誤り認証や誤り課金が発生することが無いようにと言う点に対する回答として、意見提出者としては、一般的な電波干渉を想定しており、攻撃や人為的なものと言ったものでは無いと思われる。回答例としては、「誤り制御、セキュリティ対策等」と言った回答で良いと思われる。
- ・ 回答案の9ページ目の CASPIAN の提示している問題に具体的な対策が示されていない事に対する回答としては、報告書案には示されており、明示した方が良いと思われる。回答例としては、「CASPIAN で指摘している4つの点(告知・選択・啓蒙・公開等)に対する具体的な対応を含めガイドラインの骨格として記載している。」と言った回答で良いと思われる。
- ・ 報告書案の第2章のタイトルについては、目次、本文でそれぞれ相違している。
- ・ 章の内容から判断し、「国内外の現状と取組」と言うことで統一したい。

パブリックコメントに対する回答案及び最終報告書案の承認について
パブリックコメントに対する回答案及び最終報告書案については、前項の議題において指摘のあった修正を行う事を前提として、特段の異議は無く、承認された。

その他

- ・ パブリックコメントに対する回答及び最終報告書については、報道発表を行う旨、事務局より説明があった。

(5) 閉会

(以上)